

# おやつのかん3 -ちょっとひとやすみ-

—ハイ、次これね—

NO. 41



片付けても片付けても、机の上にモノが溜まっていくのですが、どうしたらよいのでしょうか？  
ダイエットと同じで、「これはいい！」とやってみた“片付け術”もなかなか続かないものです。  
片付けが苦手な子への支援で、よく出てくる作戦があります。“とりあえずそこに入れる箱”です。  
片付けなきゃいけないモノや、無くしてはいけないモノを「とりあえずそこに入れる」という発想、  
私も活用しています。おかげさまで、少しだけ気持ちがラクになりました。—応片付けてますから。

さて、子ども達に目を向けてみても、片付けが苦手な子が少なくありませんね。片付けが苦手というよりも、やっていたことを終わりにしなければならないのが嫌で、切り替えられない姿です。  
さっきまで遊んでいたおもちゃが、突然、片づけるモノに変わるので、そりゃ無理もない。  
できることなら、遊びの延長で楽しく終わりたい＝片付けだったらいいなと、毎回思います。

「早く片付けなさい」「これしまって」と声をかけると、間髪入れず「嫌だ！」が返ってきます。  
聞いていない振りをする子もいますね。さてそこからどう進めていきましょうか？気を付けている  
ポイントをいくつか挙げてみますね。

まずは、少し前に「もうすこしたら、お部屋に行くからね。まだ遊んで大丈夫だよ」なんて、  
ソフトに予告しておきます。声かけの意味がまだ分からない子でも、毎度繰り返していくうちに、  
“そろそろ「おしまい」って言われてるな”という雰囲気は伝わるようになります。次に、その子  
に影響のないところから、大人が片付けていきます。行為は簡単に、目の前の箱に入れるだけです。  
少しずつ外堀を埋めながら、やるべき行動を見せていきます。“面倒くさいな”って顔じゃなくて、  
ちょっと微笑みながら「よいしょ、よいしょ」のように同じフレーズを繰り返し、テンポを作って  
いきます。そのうちに片づけるモノをひとつ渡し、目の前に箱を差し出します。ポンと入れてくれ  
たらしめたもの。そのリズムを崩さずに「ハイ次これお願いね」と渡し、箱を差し出します。その  
やりとりを繰り返し、「ハイ次お願い」「ありがとう」「ハイ次これ」「ありがとうね」と、同じ言葉  
かけでテンポよく手渡していきます。「これ片付けてね」と一回促してそのあと見守ってしまうと、  
なかなか次に続きません。「それはこっち。これはあそこ」と片付けを複雑にしまうとテンポ  
が作れません。「片付けてって言ったでしょ。違うよ、ほらこれもでしょ」と言いたくなってしまう  
います。餅つきの“餅をつく人”と“餅を返す人”の関係のようにポンポンと進めていきます。  
そのリズムができてきたら、手渡しせず、こちらが指を差したモノを自分でとって箱に入れるよ  
うに促していきます。誘い上手なお母さんお父さんや、促し上手な先生は、そのテンポの作り方が  
絶妙です。「その手には乗らない！」と、子どももあの手この手を使ってきますが、それでも諦め  
ずに繰り返していくと、いつのまにか、そのリズムに乗っかってお互いが笑顔になっていきます。

歌や絵本も、繰り返しのリズムやフレーズは耳触りがいいですよ。歌はサビの部分から覚えま  
すし、絵本も同じテンポで繰り返される場面から盛り上がります。

大人の“片付け術”何か良い方法はありませんか？誰かと一緒にやれば、テンポよく  
できるのかな？「自分でやりなさい！」と怒られそうですね。大人ですから。 (R1. 10) K

